

海と地熱活動の活発な山の間に挟まれて、別府にはほぼ 2,300 の温泉があり、合衆国のイエローストーン国立公園に次ぐ二番目の数となっている。町はこの地熱現象を喜んで受け入れ、何世紀にも渡って独特の温泉文化を発達させてきた。

別府の存在が世界的な観光目的地となる前には、各地の農夫達が温泉に湯治に来ていた。このような日常の慣習のおかげで、風呂を共有する緊密さに基づいた地域社会の感覚が産まれることになった。近隣の元町にある有名な竹瓦温泉のような公営で運営される別府の浴場は、町内会や行事のための特別な場所を備えた地域社会の中心となっている。地元の人たちにとって公衆浴場は単に入浴するための場所ではなく、地域社会の絆を強化する場所でもある。